

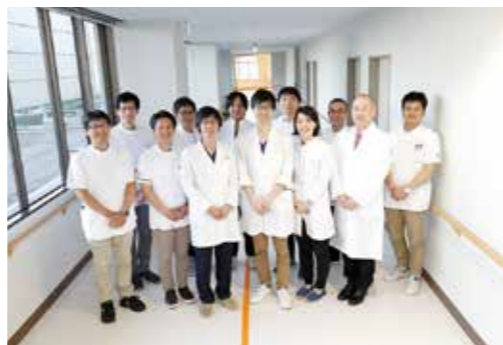
# 01 呼吸器内科

## 肺がんの診断、治療、研究のエキスパートを目指せます！

### 東病院呼吸器内科の PR ポイント

- ・ 診断から治療まで、豊富な診療経験を積むことが出来ます。
- ・ 自ら臨床試験を企画・立案し、実施することが可能です。
- ・ 基礎研究と臨床研究を繋ぐトランスレーショナル研究の実施環境が整っています。
- ・ 国内・国際学会発表、日本語・英語論文執筆等の機会も十分確保されています。
- ・ 専門医（がん薬物療法、呼吸器、呼吸器内視鏡）・学位の取得が可能です。

これほど恵まれた環境での研修は他では不可能だと思います。是非、我々と一緒に肺がんの診断、治療、研究のエキスパートを目指しましょう。



### がん診療に必要な不可欠な診療技術の習得

東病院呼吸器内科では、肺がん、悪性胸膜中皮腫、胸腺腫・胸腺がんなど胸部悪性腫瘍の診断から治療、臨床試験、トランスレーショナル研究まですべてを同時に研修できます。年間 400 名以上の新規患者さんに治療を行っており、豊富な臨床経験を積むことができます。

やる気のある方であれば呼吸器内科の臨床経験は問いません。胸部写真や CT の基本的読影、気管支鏡、CT ガイド下肺針生検などの診断技術を基礎から最先端の技術まで習得することが可能です。たくさんの患者さんを、経験豊富な指導医と一緒に診療することにより、化学療法や放射線治療、緩和ケアなど胸部悪性腫瘍の診療に必要な診療技術をすべて習得できます。

日々のカンファレンスでは患者さんの治療方針について活発なディスカッションが行われています。カンファレンスを通じて、臨床試験の結果など、エビデンスの日常臨床への応用、抗がん剤治療の有害事象への対応を学ぶことができます。また、多くの臨床試験・治験が行われており、最先端の治療にかかわることで、現在の標準治療だけでなく、将来期待されている未承認薬の治療を体感できます。



### 臨床試験・トランスレーショナル研究の実践と、学会発表、論文作成のサポート

ベッドサイドで感じた臨床的な疑問を自分で臨床試験を計画、実行することにより解決することも可能です。1992 年の開院以来の肺がん患者がすべてデータベース化されており、後方視的研究も非常に実施しやすい環境にあります。希望にあわせて、先端医療開発センターで研修することも可能で、基礎研究と臨床研究を繋ぐトランスレーショナル研究や病理診断を学べます。臨床試験やトランスレーショナル研究の結果を、国内・国際学会で発表した後、日本語・英語論文の作成に関しても全面的にサポートします。

### 専門医・学位の取得

がん薬物療法専門医の取得のために他の診療科をローテーションすることも推奨しています。もちろん、呼吸器専門医、呼吸器内視鏡専門医の取得も可能です。また、連携大学院制度を利用すれば、がんセンターで研修しながら、学位の取得も可能です。

### 2017 年度の診療実績

1日の平均患者数	: 入院約 60 名、外来約 62 名
1年間に化学療法を施行した患者総数	: 入院 729 名、外来 3528 名
気管支鏡の件数	: 826 件

### 1 週間の研修スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	外来または病棟業務				
12:00	昼休み				
13:00	気管支鏡	CT ガイド下 生検	気管支鏡	気管支鏡	病棟業務
16:00			内科 カンファレンス		
17:00		手術症例 カンファレンス			

### 研修プログラムの紹介

#### <レジデント3年コース>

呼吸器内科研修で最も推奨されるコースです。研修期間のうち 18 ヶ月以上呼吸器内科に在籍し、それ以外の期間は自由選択（最大 18 ヶ月）で希望に合わせた研修ができます。臨床試験・トランスレーショナル研究の実施、専門医の取得が可能です。

#### <レジデント2年コース>

呼吸器内科を中心に幅広いがん診療の経験を積むことが可能です。研修期間のうち 1 年以上呼吸器内科に在籍し、それ以外の期間は自由選択（最大 1 年）で希望に合わせた研修ができます。臨床試験・トランスレーショナル研究の実施、専門医の取得が可能です。

#### <がん専門修練医コース（2年間）>

3年または2年レジデントコース修了者、もしくはそれと同等以上の能力のある医師を対象とした、更に高度な研修を行うコースです。研修期間のうち 1 年以上呼吸器内科に在籍し、それ以外の期間は自由選択（最大 1 年）で希望に合わせた研修ができます。臨床試験・トランスレーショナル研究の実施、専門医の取得が可能です。

#### <連携大学院コース>

3年または2年レジデントコースに、2年のがん専門修練医コースをあわせたコースです。連携大学院制度を用いた学位取得を念頭に、1年目から基礎研究と臨床研究を繋ぐトランスレーショナル研究を開始します。研修期間の半分は自由選択で希望に合わせた研修ができます。

#### <レジデント短期コース>

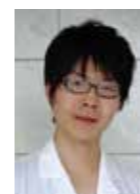
短期間の研修で、診断（気管支鏡検査、CT 透視下針生検を含む）から治療、緩和ケアまで胸部悪性腫瘍の診療技術を総合的に取得することを目標としたコースです。研修者の希望にあわせて柔軟な研修期間設定が可能です。

#### <専攻医コース>

基本領域専門医取得のため研修中の専攻医を対象としたコースです。短期間の研修で、基本的ながんの診療経験を積むことを目標としています。



### 卒業レジデントからのメッセージ



多くの患者さんの診療を通じて、がん診療を一から学ぶことができ、充実した研修生活を過ごすことができました。私は、市中病院から来たため、がん診療の経験は少なかったのですが、指導医のサポートにより、安心して診療に臨めました。実際に臨床研究を立案・実施し、学位（連携大学院）の取得を目指しています。皆さん、是非見学に来てください！

☎ 研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院  
呼吸器内科

科長：  
後藤 功一

メールアドレス：  
kgoto@east.ncc.go.jp

---

東病院呼吸器内科レジデントプログラム HP  
[https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/thoracic\\_oncology/resident/](https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/thoracic_oncology/resident/)



Facebook 東病院 教育・研修情報  
<https://ja-jp.facebook.com/nccceeducation/>

